

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 10 月 20 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒 060-0001
	札幌市中央区北1条西14丁目6
	ドコモ北海道ビル
氏 名	株式会社NTTドコモ 北海道支社
(代表者名) 北海道支社長 和田 真澄	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		37 通信業												
事業の規模	従業員数	123		人	原油換算した		3,531		kl					
	使用床面積	45,280		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	2	事業所	自動車使用台数		11		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC							
		7,160 t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂					
	非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃								
	t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂						
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項						
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項						
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他	国際規格ISO14001を参考にした自社の環境マネジメントシステム(EMS)を構築し運用している												

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 ☐のある欄には、該当する☐内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

■サステナビリティ方針
ドコモはこれまでもこれからも社会的責任を果たし世界をよりよく変えていきます。
あらゆるステークホルダーのみなさまとともに力をあわせ事業を通じて様々な社会課題の解決、新しい価値の
提供に取り組み誰一人取り残さないサステナブルな社会の創造に貢献します。

■環境
事業活動による環境への負荷を低減し、脱炭素、資源循環型社会の実現、生物多様性／生態系保全に
取り組み、お客さまとともに環境保全に貢献します。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

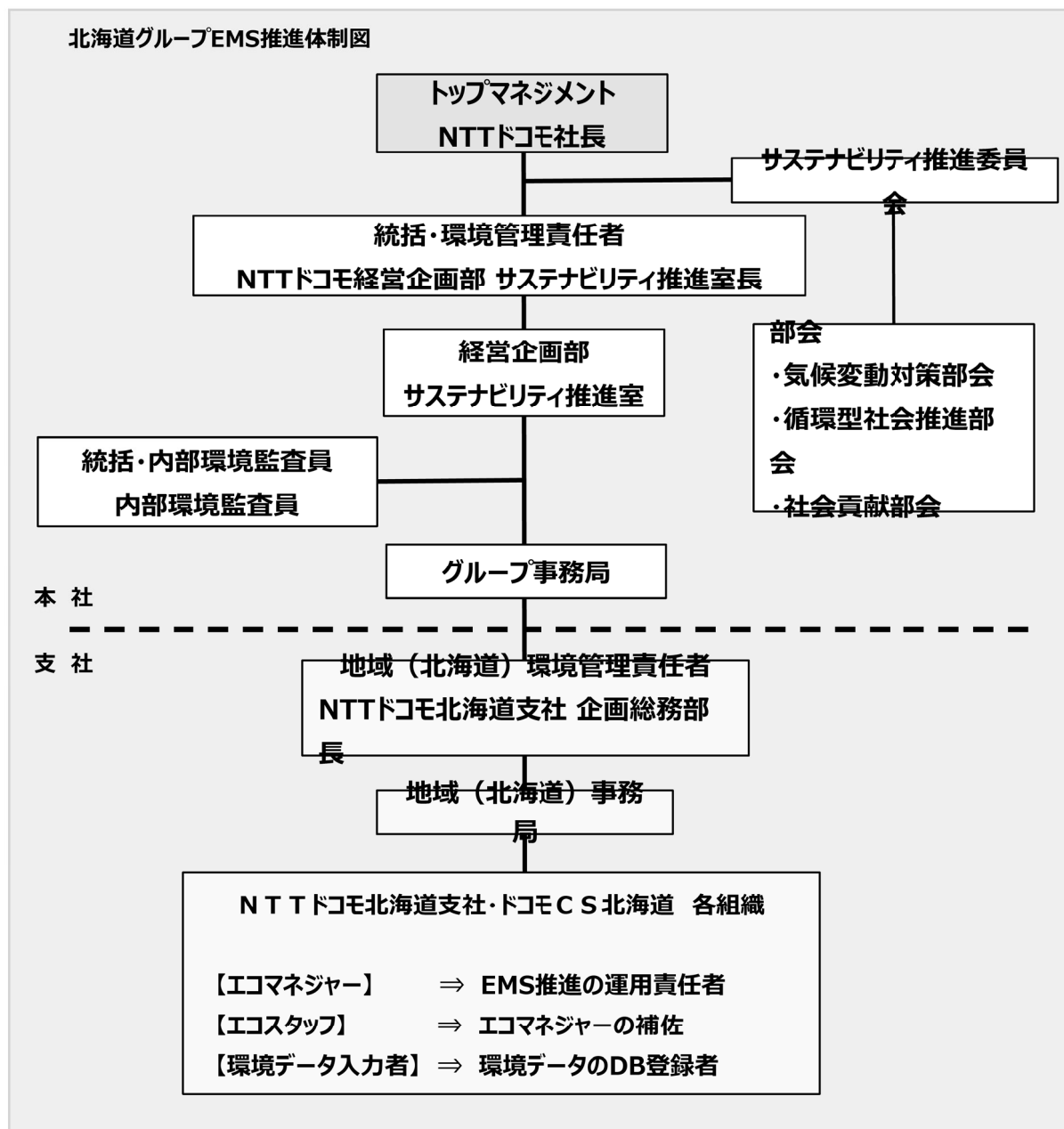
行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減 (オフィス利用分)	7.15	t-CO2 /KWH	1.0 %	7.08	O2/K	2024年度実績	電力、都市ガス
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	14.8	t-CO2	1.0 %	14.7	t-CO2	2024年度実績	ガソリン・軽油
紙使用量の削減	192,470	枚	1.0 %	191,000	枚	2024年度実績	事務用紙
法令・条例の順守	適正順守	-	- %	-	-		---
			%				
			%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
酸 化 炭 素 排 出 量 に 伴 う 削 減	事務室、会議室等未使用箇所・未使用時間の消灯	各組織	各組織			
	オフィス、廊下等 スペース毎の利用実態に即した適切な室温・空調の設定	各組織	各組織			
二 酸 化 炭 素 排 出 量 に 伴 う 削 減	EV化済み車両の積極活用、電力駆動率の拡大による燃費向上	各組織	各組織			
	アイドリングストップの実施等による社員の意識改善	各組織	各組織			
紙 使 用 量 の 削 減	電子手段では業務運営不可の場合等、真に必要な場合のみの印刷	各組織	各組織			
	TPS印刷管理による部門別・個人別印刷使用量の削減	各組織	各組織			

4 環境保全に係る実施組織体制



5 その他（環境保全活動の取り組み等）

- ・森づくり協定にもとづく植樹・育樹活動、他生物多様性の保全に関する取り組み
- ・町内会等との連携による清掃ボランティア活動
- ・オフィス廃棄物のリサイクル率向上(99.2%以上)
- ・ケータイリサイクル回収施策の実施と情報発信
- ・近隣移動時における「ポロクル」の利用推進